

4つの地震を重ね合せた ＜想定する地震の最大震度の場合＞

村田町地震防災マップ 揺れやすさマップ (震度分布図)

このマップは、住民の防災意識の向上と住宅等の耐震診断・改修の促進を図る目的で作成したものです。耐震診断・改修について考えてみましょう。

この「揺れやすさマップ」は

○この揺れやすさマップは、
 1. 宮城県沖地震(単独型)
 2. 宮城県沖地震(連動型)
 3. 活断層の地震(長町-利府断層による地震)
 4. どこでも起こりうる直下の地震(マグニチュード 6.9)
 について、それぞれ震度分布を作成し、100メートルメッシュ毎にその最大となる震度を表現しています。

○4つの地震が同時に発生することは考えにくいですが、防災上の観点から各地点で考えられる最大の震度を表したマップです。

○このマップは、地域で起こりうる可能性のある最大の震度の目安であり、住民の皆様方の防災活動に役立てていただくためのものです。全域が同時にこの震度になることを表現しているものではありません。

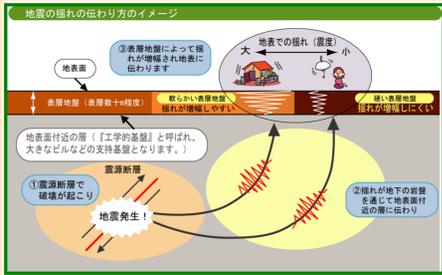
○地震による被害の軽減のためには、住宅等の耐震化を図ることが大切です。そのため、地震の大きさと揺れによる建物の危険性をよく知って頂く必要があります。そこで、発生の恐れがある地震による地域の揺れやすさを震度として評価したのがこの「揺れやすさマップ」です。

マップの作成手順

このマップの作成にあたっては、おおよそ次のような手順で、震度(揺れの大きさ)を予測しています。

○地域に影響の大きいと考えられる地震(活断層の地震(長町-利府断層による地震)、海溝型地震(宮城県沖地震(単独型、連動型)、どこでも起こりうる直下の地震)を選び、震源となる断層の規模や位置、形状などの情報を設定します。

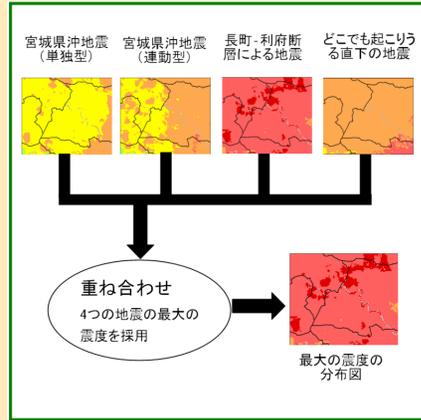
○それぞれの地震について、地震の規模や震源となる断層までの距離などにより揺れの強さが変わる性質を用いて、「地表面付近(地下の基盤)での揺れの大きさ」を計算します。



○体に感じる「地表面での揺れの大きさ(震度)」は、「地表面付近での揺れの大きさ」に「足元(表層の地盤)揺れやすさ」を加味することで求めることができます。一般に、足元の地盤が軟らかいほど、また軟らかいものが厚く堆積しているところほど、地表面では大きな揺れとなる性質がありますので、「震度」が大きくなります。

最大震度とは

○このマップでは、全域を100mメッシュに分割し、メッシュごとに地表面での震度を詳細に求め、表示しています。さらに、
 1. 宮城県沖地震(単独型)
 2. 宮城県沖地震(連動型)
 3. 活断層の地震(長町-利府断層による地震)
 4. どこでも起こりうる直下の地震(マグニチュード 6.9)
 について、それぞれ作成した震度分布のうち、100mメッシュごとに最大となる震度を表現しています。



想定している地震

- 宮城県沖地震(単独型)**
宮城県沖の日本海溝沿いのプレート境界を震源域とする地震です。県内で大きな被害がでた1978年の宮城県沖地震と同様の場所と規模と考えています。平均で37年に一度、繰り返し起きており、これからの30年間の発生確率は99%といわれています。マグニチュード7.6を想定しています。
- 宮城県沖地震(連動型)**
宮城県沖の日本海溝沿いのプレート境界で、単独型の場合の震源域を含みさらに広い範囲を震源域とする地震です。1793年に同様な地震が起きたのではないかと考えられています。次の宮城県沖地震でも起きる可能性があると考えられています。マグニチュード8を想定しています。
- 長町-利府線断層帯による地震**
仙台市から利府町にかけて、ほぼ南北に延びる長さ約40kmの活断層です。この断層は、約3000年に一度程度の割合で繰り返し地震を起こしているとされ、前回の地震は約2000年前であったといわれています。この断層では、マグニチュード7.1の地震を想定しました。
- どこでも起こりうる直下の地震**
2003年の宮城県北部での地震のように、マグニチュード6クラスの地震の場合、地震断層が地表に現れないケースが多いため、過去の活動を調べるが大変難しいとされています。こうした地震はいつ、どこで起こるか分からないのが実情です。そのため、防災上の可能性として、県内全域直下にマグニチュード6クラスのうち最大のマグニチュード6.9の地震を想定しました。

●避難施設	
①	村田町中央公民館
②	村田町民体育館
③	村田第一小学校
④	村田第一中学校
⑤	沼辺地区公民館
⑥	村田第二中学校
⑦	村田第二小学校
⑧	小泉地区公民館
⑨	村田第三小学校
⑩	姥ヶ懐地区公民館
⑪	東足立地区公民館
⑫	西足立地区公民館
⑬	村田第五小学校
⑭	菅生地区公民館
⑮	村田第四小学校
●その他の公共施設	
⑯	村田町役場
⑰	県南中核病院村田診療所
⑱	大河原消防署村田出張所
⑲	宮城県立村田高等学校

村田町 緊急輸送道路	
	第1次 東北自動車道、山形自動車道、や国道の重要な基盤路線を指定
	第2次 第1次路線と連結する主要幹線道路の県道や町道を指定
	第3次 避難所等を連結する町道を指定

震度大 ← 震度 → 震度小

6強 6弱 5強 5弱 4 3

0 0.5 1 2

1:25,000

＜お問合せ先＞
 村田町 建設課 TEL 0224-83-6407

※地図の図表・解説文は、宮城県建築物等地震対策推進協議会に設置の市町村防災マップ利活用検討ワーキングにおける解説資料から引用しています。
 ※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25,000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平19総複、第977号)

